各　位

２０２０年 ９月 ２５日

株式会社アドベンチャー
東京都渋谷区恵比寿 4-20-3　恵比寿ガーデンプレイスタワー24F
代表取締役社長　中村　俊一
（コード番号：6030 東証マザーズ）
問い合わせ先　取締役　中島　照
電話（03）6277－0515

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時　　2020 年 9 月 24 日　17:15～18:15

開催方法　　対面による実開催

開催場所　　東京都中央区日本橋兜町 3－3　兜町平和ビル 2F
アナリスト協会第 2 セミナールーム

説明会資料名　2020 年 6 月期　第 4 四半期決算説明資料

【添付資料】
説明会において使用した資料

以上

ADVENTURE

2020年6月期第4四半期

決算説明資料

株式会社アドベンチャー

（証券コード：6030）

ハイライト

ADVENTURE

外部環境について…

渡航中止勧告

外出自粛要請

運行停止・減便

新型コロナウイルス

入国制限措置

緊急事態宣言

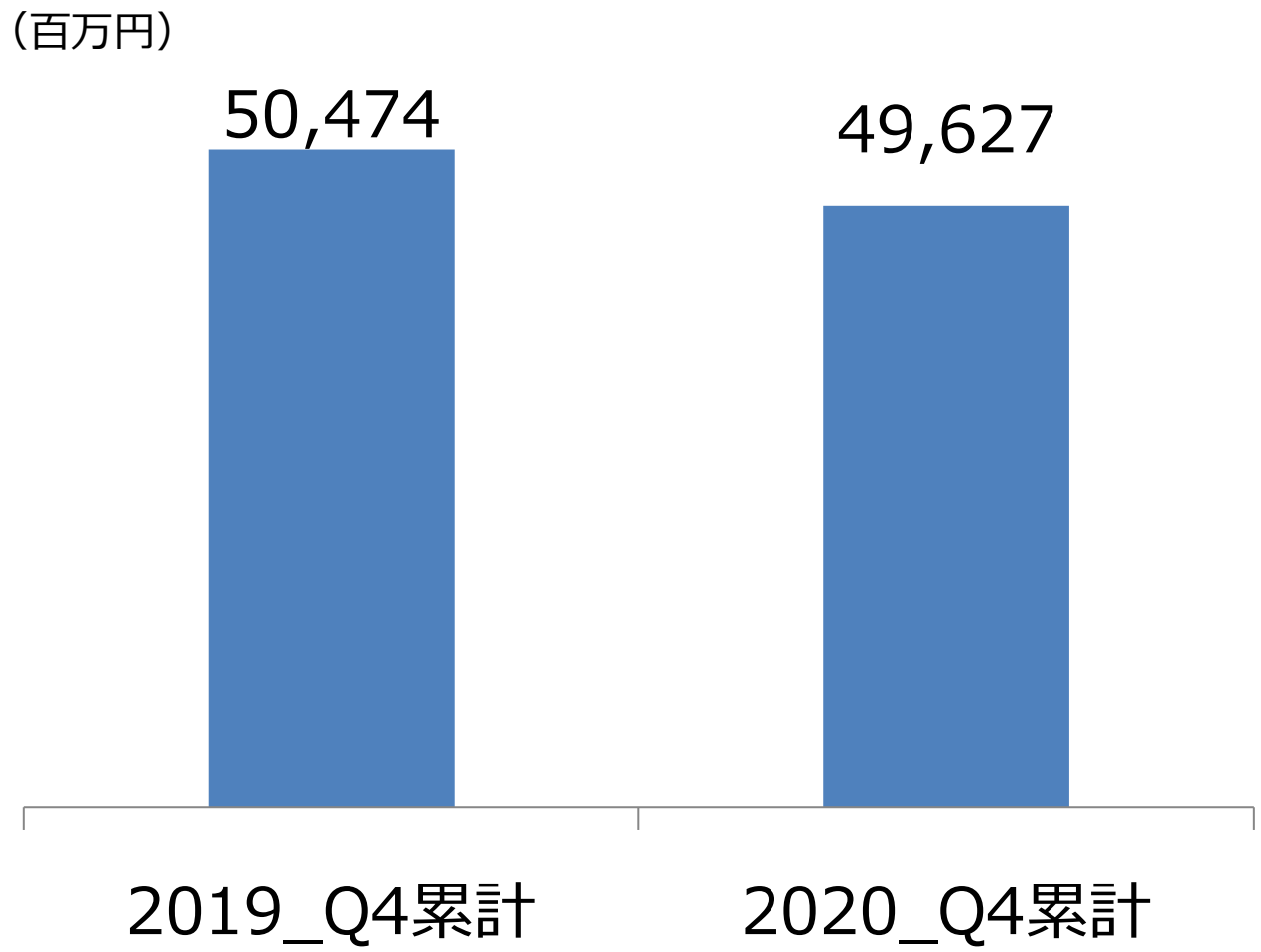
休業要請

下半期から厳しい状況が続いている

ハイライト

ADVENTURE

収益:Q4累計



連結収益は前期比同等

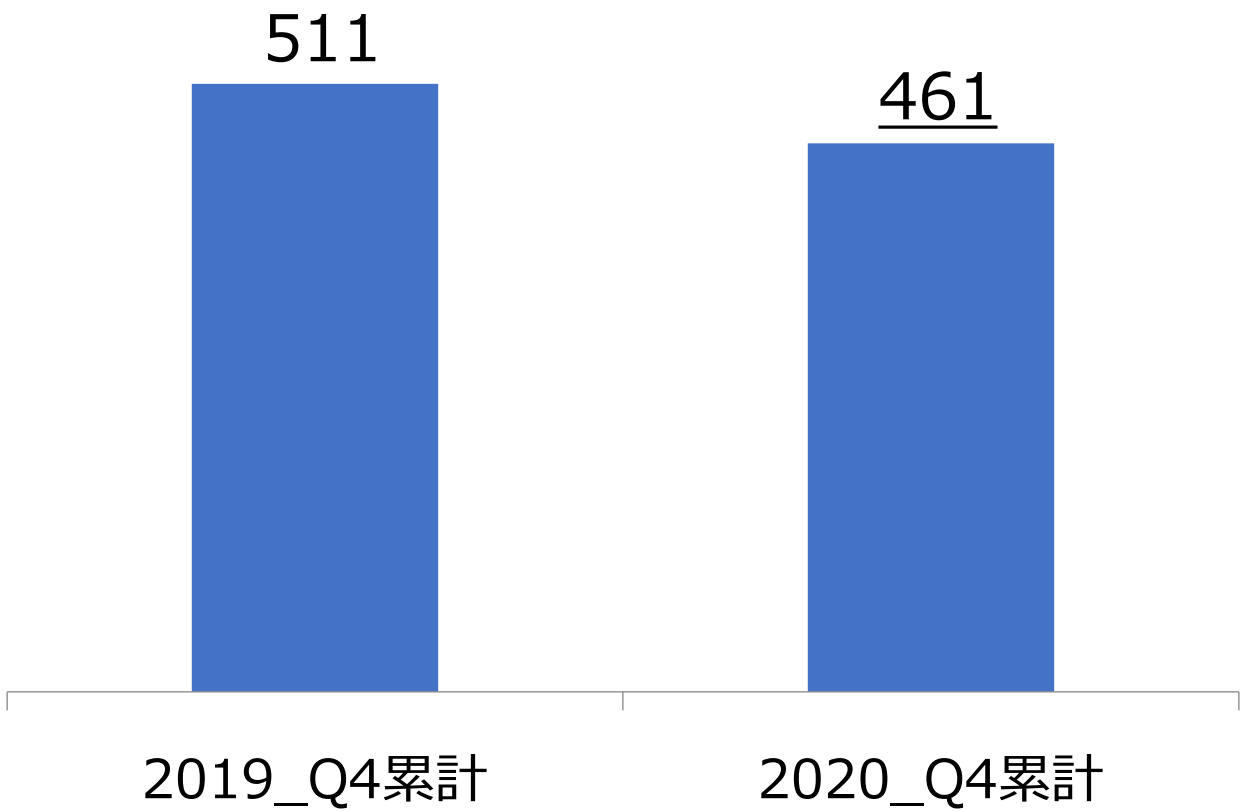
98%

ハイライト

ADVENTURE

営業利益：Q4累計

（百万円）



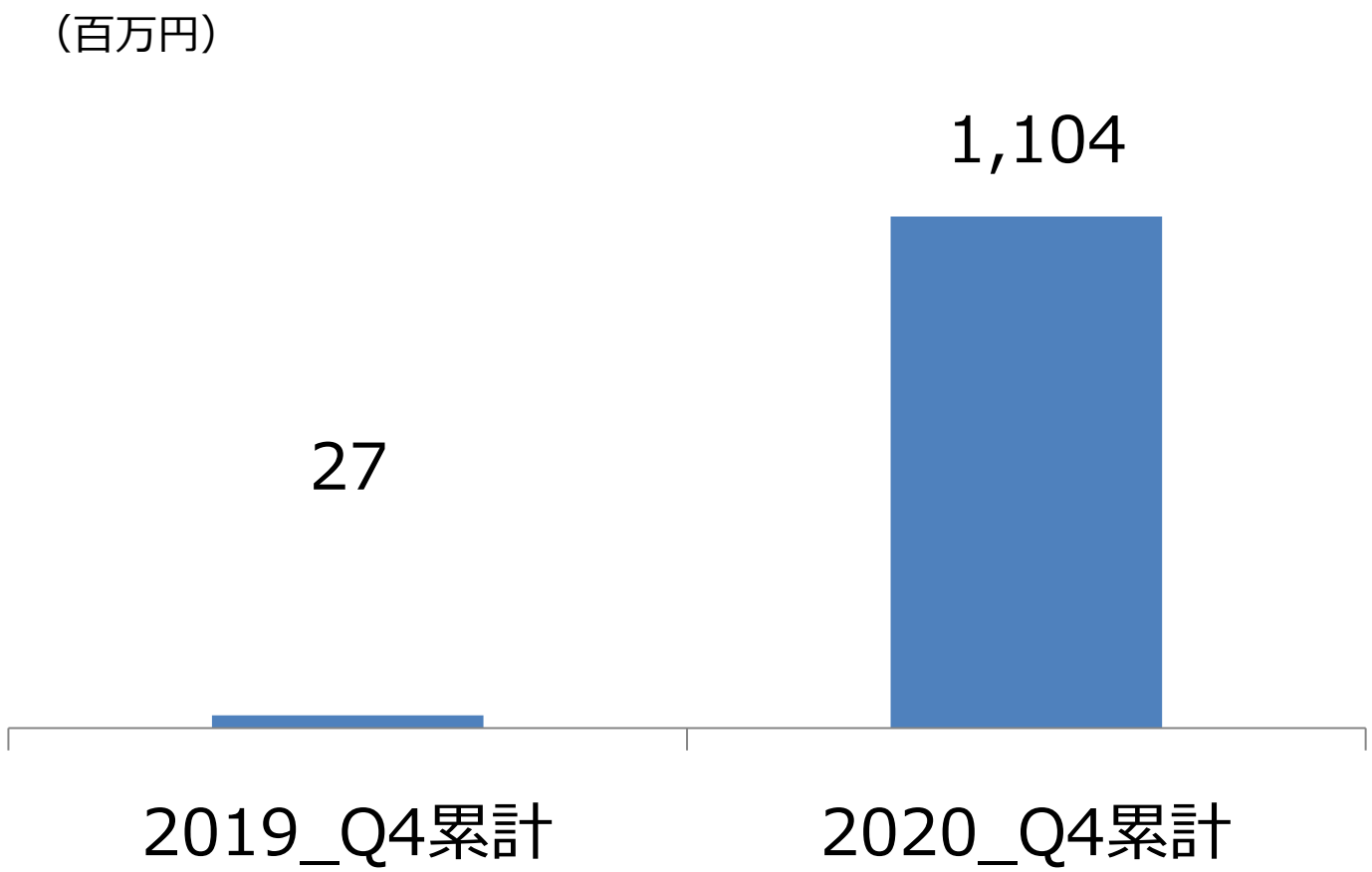
Q4累計で前期を下回る

90%

ハイライト

ADVENTURE

単体営業利益：Q4累計



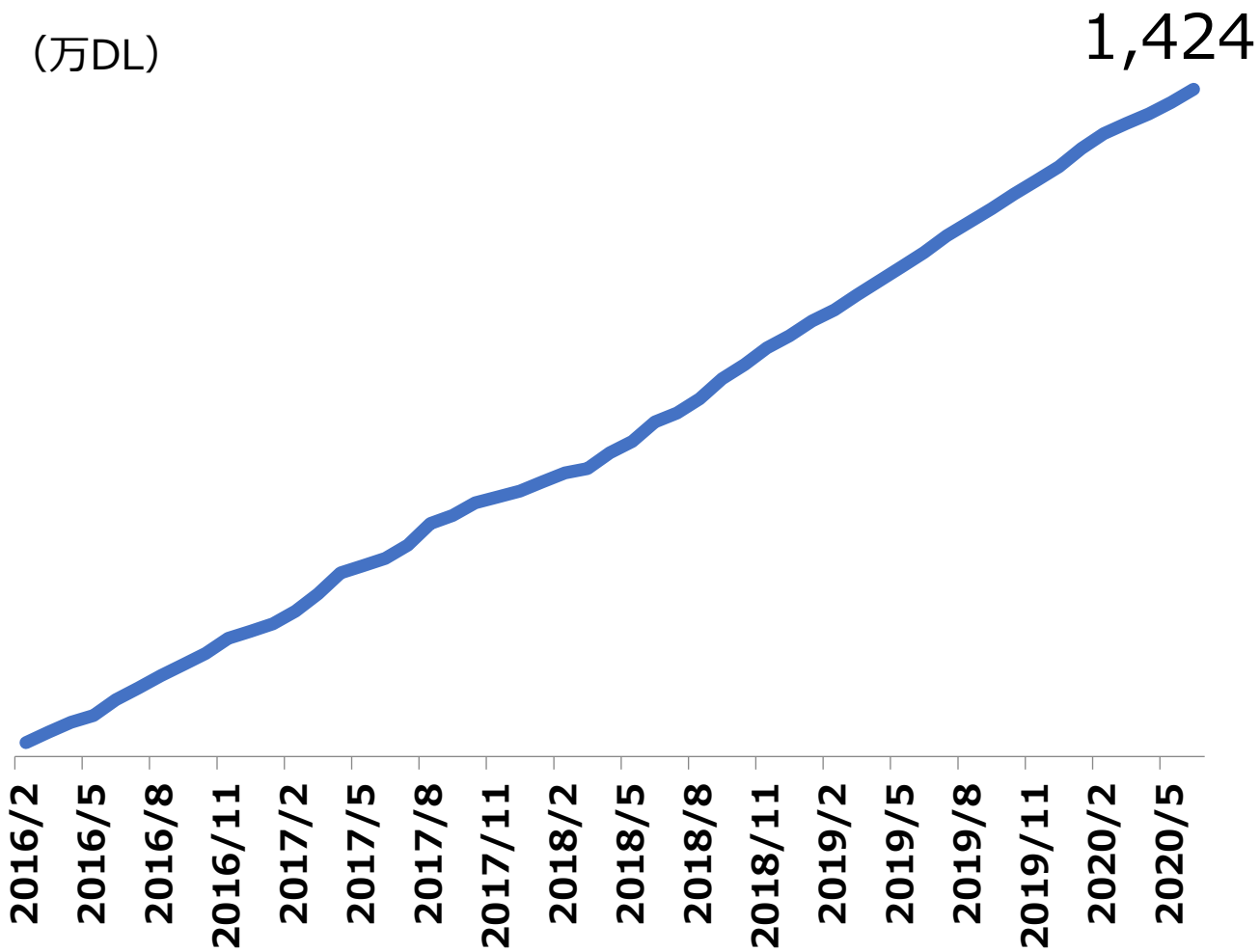
単体の営業利益が順調に推移

4051%

ハイライト

ADVENTURE

アプリダウンロード数



リリース以来順調に増加

9/11

1,500万

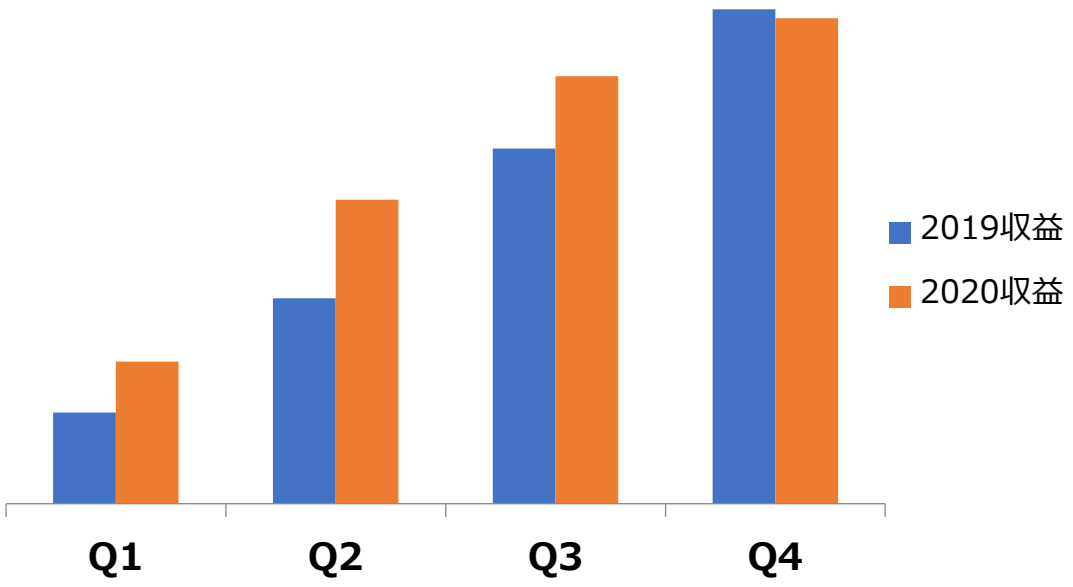
突破

ハイライト

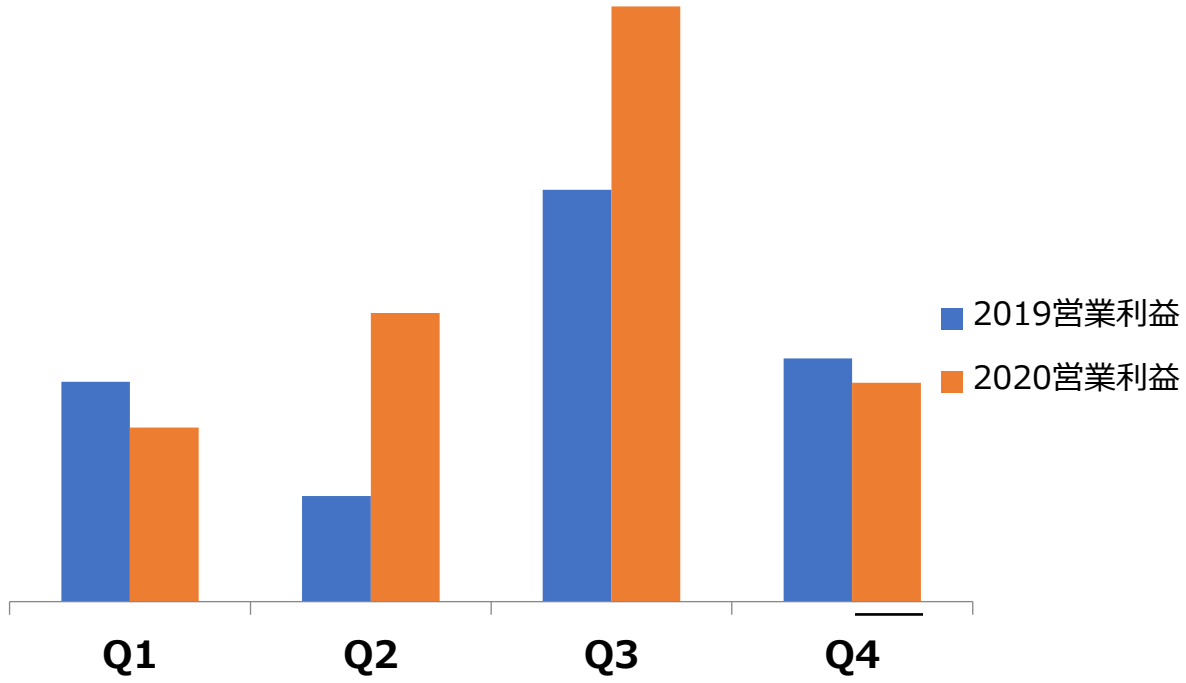
ADVENTURE

子会社売却の影響により、4Qに利益が縮小

収益推移



営業利益推移



目次

ADVENTURE

1．新型コロナウイルスの影響

2．第4四半期累計PL

3．第4四半期累計BS

4．セグメント別利益

5．経営資源の集中

6．skyticket事業

7．今後の中長期的な見通し

1．新型コロナウイルスの影響

ADVENTURE

引き続きコロナの影響が続くと想定

◆国内旅行　1~2年程度

◆海外旅行　3~5年程度

※一方で旅行市場におけるオンラインのシェアは急速に拡大していくと想定
※旅行業界の中でも比較的ダメージは少ない状況
※影響は数年間続くと想定しているが、企業努力を最大限に行い、今期も増益を目指す

2. 第4四半期PL

ADVENTURE

子会社売却により通期利益が前年を下回った。
減損損失842百万円を計上済み。
（子会社売却等　651百万円
店舗閉鎖、ソフトウェア等　191百万円）

（単位：百万円）

	2019 4Q累計	2020 4Q累計	増減（率）
収益	50,474	**49,627**	**▲847（ 98%）**
営業総利益	14,016	**12,885**	**▲1,131（ 92%）**
販管費及び一般管理費	13,318	**11,683**	**▲1,635（ 88%）**
うち広告宣伝費	8,565	**6,161**	**▲2,403（ 72%）**
営業利益	511	**461**	**▲50（ 90%）**
当期利益	175	**21**	**▲154（ 12%）**
親会社の所有者に帰属する当期利益	184	**72**	**▲112（ 39%）**

3. 第4四半期BS

ADVENTURE

4月実行の20億円の借入により、現金および現金同等物が増加
子会社売却等によりのれんが減少

（単位：百万円）

	2019 4Q	2020 4Q	増減（率）
流動資産	**12,410**	**11,888**	**▲522（ 96%）**
現金および現金同等物	3,455	6,998	**3,542（203%）**
非流動資産	**4,613**	**5,020**	**406（109%）**
のれん	2,470	1,818	**▲652（ 74%）**
資産合計	**17,024**	**16,908**	**▲115（ 99%）**
流動負債	**12,771**	**11,810**	**▲961（ 92%）**
非流動負債	**2,722**	**3,621**	**899（133%）**
負債合計	**15,493**	**15,432**	**▲61（100%）**
資本合計	**1,530**	**1,476**	**▲54（ 96%）**
負債及び資本合計	**17,024**	**16,908**	**▲115（ 99%）**

4. セグメント累計営業利益

ADVENTURE

子会社売却に伴いコンシューマ事業利益は減少

（単位：百万円）

	2019 4Q累計	2020 4Q累計	増減（率）
コンシューマ事業	366	294	▲71（ 80%）
投資事業	145	166	20（114%）
合計	511	461	▲50（ 90%）

5. 経営資源の集中

ADVENTURE

旅行系に経営資源を集中

＜ 清　　算 ＞　3社：AppAge、ビッグハートトラベル、スグヤク
＜ 売　　却 ＞　2社：wundou、ギャラリーレア
＜売却予定＞　1社：EDIST

※コンシューマ事業の旅行系以外の子会社は全て売却

【今後の計画】
・子会社売却を進めて、のれん、有利子負債を削減し、自己資本比率を今期末20%目標とする
・来期以降は利益を拡大し、早急に自己資本比率30%を達成する

今期の目標

①ホテル、旅館等の宿泊施設直契約を増加

②バス商材の拡大

③多言語商品の拡大（⇒レンタカー、ホテル、DP、空港送迎）

④顧客利便性向上（⇒ポイント、会員ステータス等の導入）

⑤アプリの強化（⇒ 1,700万ダウンロード、アプリ比率の向上）

今期は複数の新規サービス予定

（日本語）
レストラン予約、オプショナルツアー予約、海外レンタカー、空港送迎、ツアー

（多言語）
ホテル、レンタカー、DP、空港送迎
来期以降は多言語化サービスのマーケティングを拡大

7. 今後の中長期的な見通し

ADVENTURE

オンライン旅行市場における当社の見解

・世界的にオンライン旅行市場はまだまだ拡大していく

・国内旅行市場においても依然として店舗を保有する伝統型旅行会社のシェアが大きく、今後大幅にシェアを拡大することができる

将来見通しに関する注意事項

ADVENTURE

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合でも、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。